第８学年２組 未来創造科学習指導案

日　　時　令和４年 11 月 15 日（火）３校時
学　校　名　島根大学教育学部附属義務教育学校
指導者氏名　教諭　湯浅　里保

１　探究課題　　職場訪問を通して，「住みたいまち」を考えよう

２　単元名　　社会に関わる　「住みたいまちプロジェクト　～ふるさとの明日を創ろう～」

３　授業構想と探究への手立て

本校の未来創造科において後期課程の３年間では，各学年の教科・領域での学習成果を活用し，地域課題の現状分析などを通して，地域を魅力ある「住みたいまち」にするための課題解決を行い，その成果を地域に発信することを目指している。第７学年（中学１年相当）では，第６学年までの学びを踏まえ，「社会を知る」をテーマに地域の公民館の取組を分析・考察する活動を行う。そして第８学年（中学２年相当）では，「社会と関わる」をテーマに職場訪問を通して地域で働く人々が考える地域の強みと課題について考えていく。その後第９学年（中学３年相当）では，「他とともに社会に参画する」をテーマに住みたいまちづくりの提案や活動を行うことを計画している。

本年度の８年生の未来創造科の取組を，探究の過程に添って次のように展開していく。まず，「課題設定」の過程では，第７学年での公民館の取組を分析・考察した活動や自分の考えた「住みたいまち」を振り返った。そして，住みたいまちにはどのような条件が必要なのかを考え，子ども，働く世代，高齢者の３つの視点で分類する活動を行った。その後今年度，調査する対象を「地域で働く人々」とし，職場訪問でのインタビュー調査を通して，「職場訪問を通して，『住みたいまち』を考えよう」と探究課題を設定した。「情報の収集」の過程では，インターネットでの情報収集や職場訪問でのインタビュー調査を行った。「整理・分析」の過程では，得た情報を取捨選択し，探究課題の解決につながるよう思考ツール等を活用して行っていく。「まとめ・表現」の過程では，得られた情報と最初に立てた自分の予想を比較して課題の背景を捉え課題解決の価値を見い出し，実践した成果をまとめ発信する。発信の対象を７年生とし，ICT 機器を使って，聞き手を巻き込みながらプレゼンテーションを行う。「ふりかえり・価値付け」の過程では，今年度の活動を振り返り，活動することによって感じた自他の変化等を客観的に捉え，活動の効果や成果，改善点について検証していく。また，自分たちの身の回りの大人や組織が常に「誰か」のために活動していること，またそれによって社会が維持されているということに気付けることを目指す。それを踏まえて第９学年での社会参画活動での課題設定につなげていきたい。

本時は，「整理・分析」の過程と位置づけ，地域で働く人々にとっての「住みたいまち」について考える。自分が訪問した職場と，班のメンバーが訪問した職場で得た情報を比較したり，関連付けたりして，地域の強みや課題，働く人々の思いなどに分類する活動を行う。そして，地域で働く人々にとっての「住みたいまち」について考える場面を設定する。その際，その理由や「誰にとっての『住みたいまち』なのか」などを問いかけ，「住みたいまち」について多面的・多角的に考えを深め，伝え合うことができるようにしたい。

４　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域の課題の背景にある問題状況，課題解決に向けた取組等についての情報を整理・分析し，的確に理解している。 ②コミュニケーションを取りながら，目的に応じて，複数の手段を使って，課題の解決に必要な情報を収集している。 ③地域の課題との関係で地域の未来を考えてきたことがこれまでに行ってきた探究の積み重ねであると理解している。	①収集した情報を比較・分析等する中で，地域の強みと課題を明確にしている。 ②自らの主張や提案の意図が伝わるように，効果的な表現の方法を選び，相手に伝わるように表現している。 ③地域の課題の複雑さを踏まえ，より良い解決法を探るために自己の考えを反復して再構成している。	①地域の強みと課題の情報収集に向けて，自分からインターネットや訪問でのインタビューでの情報収集など，粘り強く取り組もうとしている。 ②多面的・多角的に考えたり，多様性を受け入れたりしながら協働的に学び，「住みたいまち」の在り方について主体的に考えようとしている。 ③身近な人々や地域に関わり，集団や社会の一員として積極的に行動しようとしている。

５　指導と評価の計画（全70時間　本時35/52時間）

次	回	学習過程	時間	ねらい・学習活動	授業形態	知	思	態	評価方法
第一次（4）	1	課題設定	1	○未来創造科ガイダンス ・後期課程３年間や第８学年での活動のねらいや学習の進め方について知る。	学年				ふりかえり
	2	課題設定	1	○「住みたいまち」について考える① ・自分の住むまちを振り返りながら，「住みたいまち」にはどのような条件が必要かを考え，自分と友達の意見を比較しながら伝え合う。	学級		③		授業観察 ワークシート ふりかえり
	3 4	情報の収集	2	○講演会①② ・松江市の取組について知る。 ・松江市の観光について知る。	学年	①			ふりかえり
第二次（13）	5 ～ 8	課題設定	4	○「未来の島根がNO.1」ガイダンス ・企画の概要を知る。 ・県外の方から見た島根についての話を聞く，島根の課題や良さを考える。 ○創りたい島根のNO.1の企画を考える ・10年後，20年後の未来を創造し，島根をNO.1にする企画の構想を練る。	学年 ・ 学級		①		ふりかえり
	9	まとめ・表現	1	○グループセッション　※オンライン ・メンターの方へ自分の企画をプレゼンし，アドバイスを頂く。	学級			②	ふりかえり
	10	整理・分析	1	○企画の練り直し ・グループセッションでのアドバイスを参考に，自分の企画の良い点，改善点を考える。	学級		③		プレゼン資料 ふりかえり
	11 ～ 14	まとめ・表現	4	○プレゼン資料作成 ・企画のプレゼン資料を作成する。	学級	①			プレゼン資料 ふりかえり
	15 ～ 17	まとめ・表現	3	○発表会 ・自分の考えた「未来の島根がNO.1」の企画をグループ内でプレゼンする。 ・選ばれた15人は全体発表を行い，学年全体で発表を聞く。	学級 ・ 学年			②	授業観察 ワークシート ふりかえり
第三次（16）	18 19	課題設定	2	○「住みたいまち」について考える② ・本校の未来創造科の５つのカテゴリーから，島根の強みと弱みを考える。 ○職場訪問先の希望をとる。 ・自分の興味のある分野を知る。	学級		①		授業観察 ワークシート ふりかえり
	20 21	情報の収集	2	○職場訪問先調べ ・職場訪問先について，インターネットを使って調べる。	グループ			①	ワークシート ふりかえり
	22 23	まとめ・表現	2	○職場訪問先へ挨拶状をかき，電話をかける ・「手紙の書き方」冊子を活用して，ハガキをかき投函する。 ・職場訪問先に電話をかける。	個人 ・ グループ			③	ハガキ ふりかえり
	24 ～ 27	情報の収集	4	○職場訪問でのインタビュー内容を考える ・インタビュー活動の目的（「住みたいまちプロジェクト」の案をつくるための情報を集める）を達成するためのインタビュー内容を考える。	グループ	①			ワークシート ふりかえり
	28 ～ 31	情報の収集	4	○職場訪問 ・職場へ訪問し，話を聞いたり，施設を見学したりする。 ・インタビューを行う。	グループ	②			ワークシート ふりかえり
	32 33	まとめ・表現	2	○礼状書き ・職場訪問で学んだことを振り返り，職場訪問先へ礼状を書く。	個人 ・ グループ	③			礼状 ワークシート ふりかえり
第四次（14）	34 ～ 36	整理・分析	3（本時は2／3）	○職場訪問でのインタビューの整理① ・職場訪問を通して情報収集してきたことを整理する。 ○住みたいまちについて考える③ ・職場訪問から得た情報を共有し，地域で働く人々にとっての「住みたいまち」を考える。 ○職場訪問でのインタビューの整理② ・地域で働く人々にとっての「住みたいまち」から，職場訪問先と「住みたいまち」のつながりを整理する。	グループ ・ 学級		①		授業観察 ワークシート ふりかえり
	37 ～ 45	まとめ・表現	9	○発表会に向けた準備 ・職場訪問を通して集めた情報を，「住みたいまち」の視点を踏まえながら，新聞にまとめる。 ・発表会に向けて，作成した新聞等を使ってプレゼンテーションの準備をする。 ・発表会のリハーサルを行い，発表の改善を行う。	グループ		②		プレゼン資料 ふりかえり

	46 47	まとめ・ 表現	2	○８年生発表会 ・職場訪問での情報収集を通して，自分の考えた住みたいまちについて発表する。 ・友達の発表を聞いて，「住みたいまち」についての考えを深める。	学年 7年生			②	発表 プレゼン資料 ふりかえり
第五次（5）	48 49	情報の 収集	2	○９年生発表会 ・９年生の発表会に参加し，今後の活動の見通しをもつ。	全校			②	ふりかえり
	50 51	整理・ 分析	2	○住みたいまちについて考える④ ・９年生の発表から，本校のカテゴリーから見た「住みたいまち」について考える。 ・「住みたいまち」にしていくために，まちや人のために今の自分たちにできることは何かを考える。	学級		③		授業観察 ワークシート ふりかえり
	52	ふりかえり ・ 価値付け	1	○ふりかえり ・「社会に関わる」をテーマに活動してきたことを振り返る。 ・来年度以降の活動の見通しをもつ。	学級	③			ふりかえり

６　本時の学習

（１）目標

・地域で働く人々にとっての「住みたいまち」について，職場訪問から得た情報を友達と伝え合い，比較したり，関連付けたりしながら，考えを深めることができる。

（２）展開

学習活動と予想される子どもの反応	教師の支援（・）と評価
１．今までの活動を振り返り，本時の目標を確認する。（３分）	・今までの活動を振り返りながら，「住みたいまちプロジェクト」の流れを思い出せるようにする。 ・本時では，職場訪問でのインタビューで得た情報を，比較したり，関連付けたりしながら，地域で働く人々にとっての「住みたいまち」について考えることを伝える。
職場訪問から得た情報を伝え合い，地域で働く人々にとっての「住みたいまち」を考えよう。	
２．職場訪問でのインタビューで，「住みたいまち」についてわかったことを付箋に書き出し，班で分類・整理する。（15分） ○付箋に書き出す。 ・地域の行事に参加　・商店街で協力している ・働くお母さんをフォローする支援 ・観光資源や自然などを生かす　・安心・安全 ・観光客のリピート率をあげる　・おもてなし ・観光客だけでなく，地元の人の利用を増やす ・高齢者の方々が利用しやすくしている ・水害が多い　・隊員がたりない ・若者の定住率が低い　・交通の便が悪い	・班で，ホワイトボードかタブレットを選択できるようにする。 ・「住みたいまち」についてわかったこととは，前時までに使ってきているワークシートを参考に，職場の取組と現状を４つ以内で，付箋に具体的に書き出すように伝える。
○班で付箋を分類・整理する。 ・地域の強み　・地域の課題 ・職場の取組　・働く人の思い ・働く人の願い ・誰にとっての「住みたいまち」につながるのか ・本校の未来創造科のカテゴリー	・班で分類・整理する場面では，職場訪問先の業種がちがうため付箋に書かれている短文から読み取れないことを，「何のためにそれを行っているのか」「なぜその取組があるのか」「それをしなかったらどうなるのか」などの視点から補足説明しながら分類するように伝える。 ・分類したカテゴリーに見出しを付け，共通点や相違点などを関連付けるように指示する。

３．他の班と比較して，共通点や相違点を明確にする。（７分） ・どの班にも共通する点を見つける ・松江市ならではの特徴がある ・職場によって力をいれている所が違い，それはその職場のアピールポイントである	・自分の班について説明する人，他の班を見に行く人を分担するように指示を出し，自分の班と比較する時間を設定する。 ・自分の班と他の班の共通点や相違点に着目することで，その地域の現状やニーズに合わせてその取組が行われていることを班の中で共有するように促す。
４．地域で働く人々にとっての「住みたいまち」について考える。(20 分) ・子育てがしやすいまち →若い世代のＩターン者やＵターン者を増やし，活気あるまちにしていく。松江の人口を増やす。 ・活気のあふれるまち →観光客を増やす。地元に誇りをもつ。経済の活性化。商店街を盛り上げる。 ・安心で安全なまち →誰もが安心して暮らすことができる。幸福なまちにする。 ・文化や伝統があるまち →松江のよさを生かしたまちづくりをして，ふるさとを愛する子どもを育てたい。 →観光客の人に楽しんでもらい，松江のよさをアピールした。	・Google form を使い，生徒の考えを記入できるようにする。そして，全員の考えが一覧で提示できるようにする。 ・「どこの職場に訪問したのか」「なぜそのようなまちなのか」と問いかけ，それぞれの職場が利用者の方や地域のニーズなどに応じて様々な取組を行っていることについて着目できるようにする。 ・共通点を取り上げることで地域のよさや課題に着目したり，相違点を取り上げることでそれぞれの職場の取組は違うが，地域で働く人々が目指す「住みたいまち」は共通点が多いことに着目したりできるようにする。 ・「自分の住みたいまちと違いはあるか」と問いかけ，地域で働く人々にとっての「住みたいまち」と自分が考える「住みたいまち」の双方から考えることができるようにする。 評価の観点（思考・判断・表現） 収集した情報を比較・分析等する中で，地域の強みと課題を明確にしている。 【授業観察，ワークシート，ふりかえり】
５．本時の振り返りをする。（５分） ・他の職場訪問の情報を聞いて，自分の行った職場とはぜんぜん違う取組がありました。でも，取組自体は違うけど，「利用者の方のため」「安心して生活してほしい」などの思いは共通していたので，それは全部住みたいまちにつながっていると思いました。その思いと，私が大切にしたい松江の伝統や文化などを生かしたまちが今の私の住みたいまちです。 ・自分の訪問した職場だけでなく，違う職場の取組を知ることができました。松江の強みと課題は似ている部分が多かったです。住みたいまちに対する考え方が広がったのでよかったです。	・ふりかえりには，職場訪問から得た情報を共有したことで分かったこと，それを踏まえて，地域で働く人々が目指す「住みたいまち」とはどんなまちなのかなどの視点で書くように指示する。 ・次時では，他クラスでどんな考えがあったのかを，それぞれの職場訪問チームで伝え合う活動を行うことを伝える。

（３）本時の評価基準

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	支援を要する状況への手立て
概ね満足できると判断される状況に加えて，複数の職場の情報をもとに地域で働く人々にとっての「住みたいまち」を考えたり，働く人々と自分の「住みたいまち」を比較しながら考えたりしている。	地域で働く人々にとっての「住みたいまち」について，職場訪問から得た情報を比較・分析等することで，地域の強みと課題を明確に捉えている。	複数の職場の取組や特徴の共通点に注目するように伝える。また，職場訪問を通して見たり聞いたりしたことを具体的に想起できるような声掛けを行う。